

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.159

2019. 1. 4

発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL 019-684-2225

FAX 019-684-2227

あけましておめでとうございます。ますます寒い時期に入りますが、国民の声を聞かない安倍政権の横暴に黙ってはられません。新年早々に街宣署名行動も予定しています。県内各地で声を上げ、岩手全体で30万筆をめざし取り組んでいる「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」をさらに広げ、9条改憲をSTOPさせましょう！

岩手の3,000万署名数は、16万6千筆 (12/25現在)

《新春メッセージ》



**違憲立法＝「安保法制」が容認した
集団的自衛権行使を「合憲化」しようとする
「自衛隊明記」改憲を許してはいけません**



岩手大学人文社会科学部教授 横山 英信さん

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

現在自民党が行おうとしている「自衛隊明記」改憲の狙いは、安倍首相が言うような「自衛隊を憲法に明記することによって自衛隊違憲論をなくし、自衛官に誇りを持ってもらう」ことにあるものではありません。その真の狙いは、2015年9月に政府与党等の強行採決によって成立させられた違憲立法＝「安保法制」が容認した集団的自衛権行使を、改憲によって「合憲化」しようとするところにあります。

自民党は「憲法9条の1項・2項はそのままにしておいて自衛隊を明記するだけだから、現状を追認するだけで心配ない」と言っていますが、明記される自衛隊は「安保法制」によって集団的自衛権行使を容認された自衛隊であり、これが明記されれば「後法優先の原則」（先に制定された法と後に制定された法の間に内容上の齟齬がある場合には、後に制定された法の内容が優先される）によって、9条1項・2項は死文化し、日本は「海外で戦争できる国」になってしまいます。これは、日本の防衛政策の基本とされてきた「専守防衛」の枠を大きく踏み外すものであり、日本が海外の戦争に関与し、またそれに巻き込まれかねない状況を作り出します。自衛官は海外での戦闘行為にかりだされ、生命の危険にさらされることになるのです。このような状況が「自衛官に誇りを持ってもらう」ものとは正反対であることは明白です。

9条を守ろうとする人々の中でも、自衛隊については「違憲だ」「専守防衛の範囲ならば合憲だ」と意見は分かれています。しかし、集団的自衛権行使を「合憲化」して「専守防衛」を投げ捨てる「自衛隊明記」改憲に対しては、「日本を海外で戦争できる国にはさせない」という一致点で、これに反対する大きな共同運動を作っていくことが可能です。3000万署名はまさにそのための取り組みです。

署名活動を行う中で「自衛隊明記」改憲の真の狙いを多くの人々に知らせ、改憲阻止の運動を大きく、そして急速に広げていきましょう。

お知らせ お誘い合わせの上、ご参加ください！

安倍9条改憲NO！全国市民アクション岩手の会・平和憲法・9条をまもる岩手の会共催

「私たちのくらしに憲法をいかそう！ー建国記念の日を考える市民のつどいー」

2月11日(月・祝)10:30～14:45 盛岡市サンビル7階ホール 参加費 300円

午前：横山英信氏（岩手大学人文社会科学部教授）学習講演、午後：9条の会を中心とした活動交流。

※弁当（500円）の注文も受け付けます。参加申し込みも含め、団体・組織の皆さんはまとめてお申し込み下さい。

いわさきちひろ生誕100年 前進座「ちひろ」公演を626人が鑑賞 千ヶツ普及へのご協力ありがとうございました！



笑いの中にも根底にちひろの非戦の誓いが込められた劇団前進座のお芝居を成功させようと、7月に実行委員会を立ち上げすすめました。脚本家をお呼びした8月のプレ企画をはさみ、11月30日に盛岡で昼・夜2回公演を開催しました。

「ちひろや、あの時代を生きた人々の平和の思いを知った」「権

力は常に芸術を支配しようとする。今の時代も表現の自由を妨げる動きにもっと敏感にならねば」などの感想が聞かれ、岩手はもちろん隣県からも鑑賞に訪れた方があり、「大満足で期待以上。大変すばらしかった」と大好評のステージでした。



実行委員メンバーと出演者のみなさんでハイチーズ



アメリカ合衆国とその社会をどうみるか

—新年にあたり、「負けるわけにはいかない」、勝つために—

新年にあたってもトランプ米大統領は「アメリカ第一主義！」を掲げて、世界各国と喧嘩のオンパレード、改めてこれは願ひ下げたいものです。朝鮮半島での「平和のプロセス」はエールを送りたい。このほかにもプラスとマイナスの事項が混在、混沌、一体どうすれば良いのだろうか。

答えはあります。ある政党の党首が言いました。「アメリカ合衆国とその社会は複眼で見なければならぬ」と。なるほどと思いました。

コラム子は、これに「オール・オア・ナッシングではなくケース・バイ・ケースで見なければならぬ」と付け加えたい。「オール・オア・ナッシング」では「アメリカはすべて民主主義、アメリカはすべて人権の国とか、アメリカはすべて非民主主義、アメリカはすべて非人権の国とか」になり、これだけは私たちの判断を間違えます。

だから「ケース・バイ・ケース」で「アメリカは民主主義であるが非民主主義でもある、アメリカは人権の国であるが非人権の国でもある」とみれば、現在の「アメリカ合衆国とその社会」を正しく見るができると思います。

そうすれば私たち日本国民は声を上げることができると思います。「民主主義と人権と平和」に対しては「イエス！」と、「非民主主義と非人権と非平和」に対しては「ノー！」と、大きな声をあげましょう。どうでしょうか。(T)

1月の署名活動は9日(水)12:30~13:00

防寒対策を万全に！

盛岡市大通・野村證券前で「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」の街宣署名を行います。お誘い合わせの上、ぜひご参加ください！